

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム 地域アセスメントシート（概要）

理想の姿：障害のある人もない人も、お互いに尊重し合い、市民全てが安心して自立した暮らしができるまち・府中の実現
【地域移行】（入院から地域生活へ）

構成要素	困り・課題/まだ取り組めていないこと	実施していること	実施できる事/今後できそうな事
地域の 助け合い ・教育	◆コミュニティも含めた住環境の支援	◆実際の住まい探し ◆生活力のチェック	
住まい	◆住まい探しのハードルが高い ◆グループホームへの入居条件に合わない人がある ◆ 地域の支援体制を整える	◆実際にやっている住まい探し ◆生活力のチェック	◆サプリースの検討
社会参加 (就労)	◆ピアサポート活動を活用したい	◆ピアサポート活動	
保健 ・予防	◆地域が求める医療との連携の形		
医療	◆地域が求める医療との連携の形	◆医療機関との情報共有	
障害福祉 ・介護	◆協力を得られる事業所が少ない ◆作業所が合わない人の日中の過ごし方 ◆地域移行に従事できるスタッフが少ない ◆制度に関すること		◆障害種別にこだわらない連携
地域移行 ・ 退院促進	◆地域生活をしたいと思ってもらうための支援の不足 ◆医療チーム内での地域移行の認識に差がある ◆本人と支援者の方向性が異なる ◆病状とうまくつきあいながら地域生活を送っている人もいる ◆お金のやりくりのアセスメントは難しい ◆退院の妨げになっているものは何かを考える ◆入院中からの連携 ◆ 病院と地域の患者像のギャップ	◆病院は退院に向けてミーティングや施設見学を行っている ◆一人暮らしに向けた生活評価 ◆利用できる支援の準備	◆それぞれの機関がもっている情報を共有して、地域移行をすすめたい ◆地域と病院の相互交流 ◆ 病院とグループホームの本人像のギャップを埋める機会を作る

理想の姿：障害のある人もない人も、お互いに尊重し合い、市民全てが安心して自立した暮らしができるまち・府中の実現
【地域生活】（地域生活の定着のために）

構成要素	困り・課題/まだ取り組めていないこと	実施していること	実施できる事/今後できそうな事
地域の助け合い・教育	◆生活リズムの獲得 ◆精神疾患を身近に感じてもらう工夫 ◆精神障害があると当事者・家族がより孤立しやすい ◆地域のコミュニティづくり	◆訪問支援している作業所がある ◆孤立しないための支援 ◆普及啓発	
住まい	◆アパート探しの壁（精神障害という偏見、保証人問題、トラブル） ◆住まいの選択肢が限られている ◆住み慣れたまちに住み続けることが難しい	◆馴染みの不動産屋をつくる	◆グループホーム新設について ◆事例の積み重ね ◆手引きの作成 ◆オーナーの相談先 ◆オーナーと不動産屋をつなげる ◆地域のオーナーの理解促進 ◆チェックリストで人物像を可視化する ◆支援体制からアプローチ
社会参加（就労）	◆社会につながれない人がいる ◆仕事が続かない ◆高齢化により通所が続かない ◆社会の役に立ちたい ◆就労に関する連携	◆他者とかかわる機会をつくる ◆高齢者の日中活動 ◆ピア活動の支援について	◆就労に関する連携の強化 ◆若い世代が社会参加できる環境づくり
保健・予防	◆家族の負担が大きい ◆情報へのアクセスの壁 ◆精神科に行きにくい ◆本人の了解が得られず、次の支援につながらない ◆他の病気に気づきにくい ◆精神疾患の予防と早期治療		
医療	◆医療の継続の難しさ ◆医療を含めたチーム作り ◆疾病教育が必要 ◆訪問看護の現状	◆医療機関との情報共有 ◆必要時に地域の支援者が通院同行している	◆医療機関との情報共有
障害福祉・介護	◆福祉のチーム連携強化 ◆障害特性の多様化により本人に合った施設が少ない ◆福祉分野の人材不足 ◆制度の限界 ◆人材育成	◆支援者、支援機関とつながり続けるためのかわり ◆地域生活の不安を聞く ◆支援会議への参加	◆連携する上で出来ることを柔軟に考える ◆障害種別にこだわらない連携

	◆相談員の専門相談 ◆レスパイト先を増やしたい ◆支援が必要だけど福祉サービスにつながらない人への見守りの仕組みづくり		
地域定着	◆地域で生活し続けるために必要な支援と繋がりにくい ◆キーパーソンがいない	◆地域を含めたチームづくり	◆どういう人かを地域が知る機会を作る